



応用物理学会応用電子物性分科会主催

## 応用電子物性分科会 研究例会 低次元層状物質研究の最前線

カーボンナノチューブやグラフェンに代表される低次元材料の研究は、現在では遷移金属ダイカルコゲナイド等も含めた低次元層状物質研究へと発展し、次世代電子デバイスの実現に向けて活発に研究開発が行われています。今回の研究例会では、低次元層状物質の物性からデバイス応用まで、第一線で活躍されている研究者の皆様に招待講演をお願いいたしました。

日時：2026年2月27日（金） 13:00～17:25

会場：御茶ノ水トライエッジカンファレンス (<https://try-edge.infield95.com/access/>)

演題：

13:00～13:05 応用電子物性分科会幹事長挨拶

(1) 13:05～13:45 「二次元ヘテロ構造を舞台とした量子マテリアル・機能創出」  
北浦 良（物材機構）

(2) 13:45～14:25 「複数層遷移金属ダイカルコゲナイドを用いた  
量子井戸エレクトロニクス」  
木下 圭（東大）

(3) 14:25～15:05 「カーボンナノチューブ薄膜デバイスにおける界面形成」  
大野 雄高（名大）

— 休憩（20分） —

(4) 15:25～16:05 「ヘテロ構造の量子光プラットフォームの構築と応用」  
松田 一成（京大）

(5) 16:05～16:45 「テラヘルツエレクトロニクスを用いた超短グラフェン  
プラズモン波束のオンチップ転送」  
吉岡 克将（NTT 基礎研）

(6) 16:45～17:25 「ペプチド界面基盤技術によるグラフェン・  
バイオセンサの開拓」  
早水 裕平（東京科学大）

受付：以下のイベント登録 web ページより事前登録をお願いいたします。

[https://eventpay.jp/event\\_info/?shop\\_code=3672191893354666&EventCode=C893032779](https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=3672191893354666&EventCode=C893032779)

参加費（テキスト代・消費税込み）：

分科会会員：3,000 円，応用物理学会会員（分科会非会員）：7,000 円

応用物理学会会員（シニア会員）：2,000 円，一般：12,000 円，学生：1,000 円

\* 応電分科会賛助会員の方は1社につき1名まで無料。2人目から通常の参加費。

問合せ先：久保 俊晴（名工大） E-mail: [kubo.toshiharu@nitech.ac.jp](mailto:kubo.toshiharu@nitech.ac.jp)

高橋 一浩（豊橋技科大） E-mail: [takahashi@ee.tut.ac.jp](mailto:takahashi@ee.tut.ac.jp)

石田 真彦（NEC） E-mail: [ishida\\_ma@nec.com](mailto:ishida_ma@nec.com)

吉田 千秋（応用物理学会事務局） E-mail: [divisions@jsap.or.jp](mailto:divisions@jsap.or.jp)

（スパム対策のため、上の“@”は全角になっています。半角の“@”に置き換えて下さい。）

応用電子物性分科会ホームページ：<http://annex.jsap.or.jp/ohden/>